２０２０年度

名古屋大学大学院環境学研究科

博士前期課程

地球環境科学専攻

都市環境学専攻

社会環境学専攻

学生募集要項

（2020年4月入学 第Ⅰ期募集）

名古屋大学大学院
環境学研究科

※不測の事態が発生した場合の諸連絡

　災害や感染症の流行等により，試験日程や選抜内容等に変更が生じた場合は，次のホームページ等により周知しますので，出願前や受験前は特に注意してください。

◇　環境学研究科ホームページ
　　URL　http://www.env.nagoya-u.ac.jp/

◇　連絡窓口
　　名古屋大学大学院環境学研究科　大学院係
　　TEL　052－789－4590／4272

2020年度名古屋大学大学院環境学研究科博士前期課程入学試験実施予定表

専攻名	定員	第Ⅰ期募集（本要項による募集）			第Ⅱ期募集（2020年２月試験実施予定）		
		一般選抜	留学生特別選抜	社会人特別選抜	一般選抜	留学生特別選抜	社会人特別選抜
地球環境科学専攻	53	実施する	実施する	実施しない	実施する	実施する	実施する
都市環境学専攻	47	実施する	実施する	実施する	第Ⅰ期募集の合格者数等により実施を検討する	第Ⅰ期募集の合格者数等により実施を検討する	第Ⅰ期募集の合格者数等により実施を検討する
社会環境学専攻	27	実施する	実施する	実施する	実施する	実施する	実施する

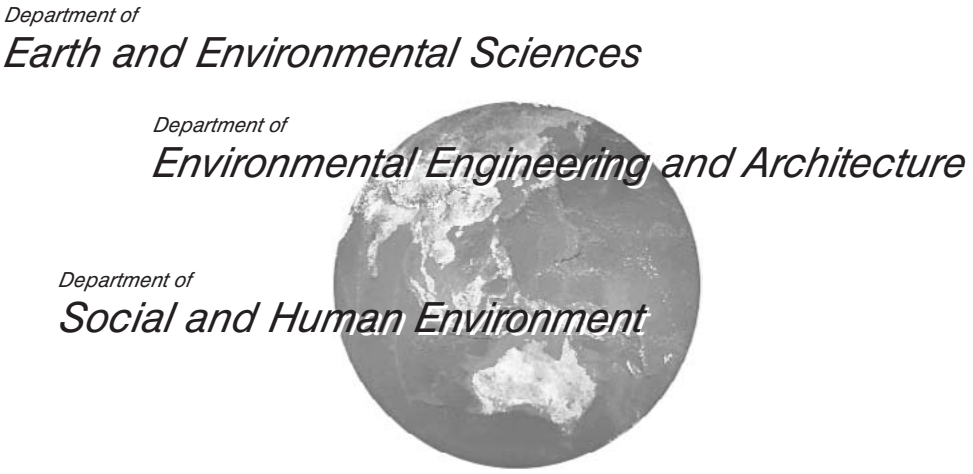
注１　「実施する」の場合も，系・コース等により受験に制限が加えられている場合があるので，募集要項の本文で詳細を必ず確認すること。

アドミッション・ポリシー（学生受入方針）

本研究科は，環境学を支える自然，都市，社会を対象とした伝統的な専門分野を深化させるとともに，専門分野の融合により環境問題解決への道筋を示し，さらに，その成果を専門分野の発展に還元させることを目指します。

幅広い環境問題に対応するために，本研究科は，惑星としての地球とその表層の大気･水圏の性状，動態，変遷を探究する地球環境科学専攻，都市の社会基盤，建築物などの人工環境を創造し，水･緑･土壌などの自然環境との調和を図る都市環境学専攻，人間の行動とそれを取り巻く社会環境との関連を考究し，環境政策を提言する社会環境学専攻，から構成されています。

これらの文理にまたがる専攻間の連携によって，持続可能かつ安全・安心な社会の実現をめざす環境学の研究・教育を実践します。



(1) 入学者受入れの方針

博士前期課程

専門分野の深化，横断的な思考力の獲得，環境問題の解決と新たな学問分野の開拓に強い意欲を持ち，確かな基礎学力を持つ人を，広く日本全国および国外から受け入れます。社会人も歓迎します。

博士後期課程

専門分野の深化，横断的な思考力の獲得，環境問題の解決と新たな学問分野の開拓に強い意欲を持ち，研究者やリーダをめざすために十分な研鑽を積んだ人を，広く日本全国および国外から受け入れます。社会人も歓迎します。

(2) 選抜の基本方針

博士前期課程

専門分野および英語の基礎学力，専門知識の応用力，横断的思考力，勉学意欲などを評価する試験を行います。留学生や社会人向けの選抜も行います。筆記試験，口述試験および面接によって選抜を行います。筆記試験においては主に受験生の基礎学力を評価し，口述試験においては主に学生の意欲を評価します。

博士後期課程

研究者や社会で活躍するリーダをめざすために必要な専門分野および英語の学力，専門知識の応用力，横断的思考力，勉学意欲などを評価する試験を行います。留学生や社会人向けの選抜も行います。筆記試験，口述試験および面接によって選抜を行います。筆記試験においては研究者や社会で活躍するリーダをめざすための学力を，口述試験においては十分な研鑽実績と意欲を評価します。

2020年４月に本学大学院環境学研究科〔博士前期課程〕に入学する学生を下記の要項により募集する。

出願にあたっては，一般選抜のほか，外国籍を有し，本研究科に在留資格「留学」で在学することができる者は，留学生特別選抜を選択できる。

なお，最終学歴の後，2020年３月31日までに２年以上の社会人（家事･家業従事者，退職者等を含む）としての経験を有し，出願時にも社会人の立場にあり，かつ正規学生・研究生でない者は，社会人特別選抜を選択できる。

また，出願にあたっては指導希望教員への事前連絡や内諾等を必要とする場合もあるので，受験を希望する試験の注意事項をよく確認すること。

各募集対象者の試験実施時期等については，P.1の「2020年度名古屋大学大学院環境学研究科博士前期課程入学試験実施予定表」を参照すること。また，詳しい内容については本募集要項のほか，別冊の「2020年度名古屋大学大学院環境学研究科入学（進学）試験受験案内（以下，受験案内）」もあわせて確認すること。

１．出 願 資 格

次の各号の一に該当する者

⑴　大学を卒業した者及び2020年３月31日までに卒業見込みの者

⑵　学校教育法第104条第４項第１号の規定により学士の学位を授与された者及び2020年３月31日までに授与される見込みの者

⑶　外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び2020年３月31日までに修了見込みの者

⑷　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2020年３月31日までに修了見込みの者

⑸　我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2020年３月31日までに修了見込みの者

⑹　外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について，当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において，修業年限が３年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により，学士の学位に相当する学位を授与された者及び2020年３月31日までに授与される見込みの者

⑺　専修学校の専門課程（修業年限が４年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2020年３月31日までに修了見込みの者

⑻　文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第５号）

⑼　2020年３月31日までに，大学に３年以上在学し，又は外国において学校教育における15年の課程若しくは我が国において外国の大学の課程（その修了者が学校教育における15年の課程を修了した

とされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し，所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本研究科において認めた者（ただし，上記資格⑴該当者は除く）

⑽　本研究科において，個別の入学資格審査により，大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，2020年３月31日までに22歳に達する者

＊　出願資格⑼，⑽により出願しようとする者は，出願資格の有無について事前審査を実施するので，あらかじめ本研究科大学院係に照会の上，2019年６月28日（金）までに所定の申請書類を提出すること。合計16年の課程を修了していない者は，事前審査を受けなければならない。

＊＊　出願資格⑼のうち，「大学に３年以上在学し，所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本研究科が認めた者（いわゆる飛び級）」に対する選抜は，都市環境学専攻・建築学コースのみ第Ⅰ期募集（本募集要項によるもの）で行い，他の専攻・コースについては，2020年２月に実施する第Ⅱ期募集にて行う予定である。

（「大学に３年以上在学し，所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本研究科が認めた者（いわゆる飛び級）」に対する入学者選抜により入学した者は，在学中の大学は退学となり，学士の学位を修得しないまま大学院博士前期課程に入学することとなる。したがって，大学の学部卒業を要件とする各種国家試験等においては，受験資格を満たさないこととなるので注意すること。）

2．募 集 人 員

地球環境科学専攻	53名
都市環境学専攻	47名
社会環境学専攻	27名

＊募集人員には，本募集の人員，2020年２月実施予定の第Ⅱ期募集の人員が含まれる。さらに，地球環境科学専攻，都市環境学専攻持続発展学コース及び社会環境学専攻に関しては，2020年８月実施予定の2020年秋入学募集の人員も含まれる。
（留学生特別選抜による各専攻の定員５名，社会人特別選抜による若干名を含む。）

3．願書受付期間

受付期間：2019年７月５日（金）～７月12日（金）　※土日祝日を除く
受付時間：（持参の場合）10時～12時，13時～16時

4．出 願 手 続 き

郵送もしくは本研究科大学院係窓口への持参のいずれかとする。郵送の場合，送付は，簡易書留郵便または速達書留郵便とすること。上記における最終日の16時までに到着したものに限り受け付ける。ただし，７月10日（水）以前の発信局（日本国内）消印のある速達書留郵便に限り，期限後に到着した場合も受理する。持参の場合，受付最終日は，窓口の混雑が予想されるため，可能な限り前日までに持参することが望ましい。

志願者は，５.１項⑴～⑽の書類の内，出願に必要とする書類一式を表面に「大学院博士前期課程入学願書在中」と朱書した封筒に入れ，入学検定料30,000円を添えて，提出すること。入学検定料は郵便局の普通為替とし，為替には一切記入しないこと。出願時に海外在住の志願者に限り，クレジットカード，Union Pay または Alipay にて入学検定料を支払うことが可能である。希望者は P.18の連絡先に問い合わせること。なお，国費外国人留学生は，入学検定料は不要である。

●出願書類の送付もしくは提出先

名古屋市千種区不老町環境総合館２階（郵便番号 464－8601）

名古屋大学大学院環境学研究科 大学院係

●留意事項

１）出願書類に不備のある場合は受け付けないので留意すること。

２）出願手続き後は，いかなる事情があっても書類の変更は認めない。
また，出願書類及び入学検定料の返還は行わない。

３）受験票の発送には，諸事情により期間を要する場合があるので，願書の受理及び受験票の発送についての照会は，試験実施日の５日前まで行わないこと。

５．提 出 書 類

５.１　出願時に提出する書類

入学志願者は，次の書類を上記「４．出願手続き」に従って本研究科に提出すること。

⑴　入学志願票，受験票，写真票，履歴書，志願理由書

本研究科所定の用紙に記入したもの。（Web でダウンロードしたものは不可）

⑵　卒業（見込）証明書又は出願資格を証明する書類

ただし，外国の大学を卒業した者は，大学又は公証所等が発行した証明書（日本語あるいは英語で書かれていない場合は，日本語訳版または英訳版を添付）を提出すること。（コピーは不可）

⑶　成績証明書

出身大学長又は学部長が作成し，改ざんが行えない処理が施されたもの。

編入学者は，編入学前の学校が発行した証明書も併せて提出すること。

外国の大学を卒業した者は，大学又は公証所等が発行した証明書（日本語あるいは英語で書かれていない場合は，日本語訳版または英訳版を添付）を提出すること。（コピーは不可）

【注：中国の大学卒業者の方へ】

中国の大学卒業者の⑵卒業（見込）証明書，ならびに⑶成績証明書について疑義がある場合，中国政府直轄財団「中国教育部学位与研究生教育発展中心（CDGDC）」が運営している，「中国学位・学歴認証システム」により学歴を確認することがあるので留意すること。

⑷　在留カードの両面の写し（コピー）

日本国籍を持っていない日本国内居住者は，在留カードの両面の写し（コピー）を提出すること。

⑸　自己推薦書（地球環境科学専攻，都市環境学専攻建築学コースまたは社会環境学専攻で自己推薦入試を受験する者）

地球環境科学専攻もしくは社会環境学専攻の自己推薦入試を受験する者は，本研究科所定の用紙

（志願理由書の裏面）に記入したもの。都市環境学専攻建築学コースの自己推薦入試を受験する者は，本募集要項で指示する所定の様式に従い，10ページ以内にまとめたもの。

⑹　TOEFL/TOEIC/IELTS スコアシート原本（社会環境学専攻で自己推薦入試を受験する者）
社会環境学専攻で自己推薦入試を受験するものは，TOEFL の“Examinee Score Report”，TOEIC の“Official Score Certificate”〈公式認定証〉，または IELTS の“Test Report Form”〈成績証明書〉（以下，これらを「TOEFL/TOEIC/IELTS スコアシート」と呼ぶ）の原本を提出すること。ただし，TOEFL については，iBT（Internet-Based Test）とする。TOEIC については，Listening & Reading Test に限る。IELTS については，アカデミック・モジュールに限る。今回の募集に関しては2017年８月１日以降に受験したものを有効とする。2017年７月31日以前に受験したものや，その他の受験制度，例えば TOEFL-ITP（Institutional Testing Program），TOEIC-IP（Institutional Program），TOEIC（Speaking & Writing Test），TOEIC（Bridge Test），IELTS ジェネラル・トレーニング・モジュールなどのスコアは受け付けない。
なお，英語を主要言語として教育を行う高等教育機関を卒業・修了したもの，あるいは卒業・修了予定のものは，スコアシートの提出を必要としない。

⑺　領収証書，領収証書（控）
本研究科所定の用紙に，氏名のみ記入のこと。

⑻　返信用封筒　２通（受験票送付用，判定結果通知用）
本研究科所定の返信用封筒２通に住所，郵便番号，氏名を明記して提出すること。
なお，受験票送付用封筒には362円分の切手を貼付すること。

⑼　宛名シール（入学手続書類の送付用）
本研究科所定の用紙に，住所，郵便番号，氏名を明記して提出すること。

⑽　現在，国費外国人留学生である者はその証明書（在学している大学発行のもの）。ただし，現在名古屋大学に在学中の国費外国人留学生は提出不要。

5.2　試験当日に提出する書類

地球環境科学専攻および都市環境学専攻の入学志願者は，TOEFL（Test of English as a Foreign Language），TOEIC（Test of English for International Communication），または IELTS（International English Language Testing System）の次の書類のいずれかを，試験当日の下記「６．選抜方法等」に指定された時間及び方法で提出すること。提出されなかった場合，試験科目「英語」の点数を零点とする。また，提出されたスコアシートの原本は試験後においても返却しない。

○ TOEFL/TOEIC/IELTS スコアシート原本

TOEFL の“Examinee Score Report”，TOEIC の“Official Score Certificate”〈公式認定証〉，または IELTS の“Test Report Form”〈成績証明書〉（以下，これらを「TOEFL/TOEIC/IELTS スコアシート」と呼ぶ）の原本を提出する。ただし，TOEFL については，iBT（Internet-Based Test）に限る。TOEIC については，Listening & Reading Test に限る。IELTS については，アカデミック・モジュールに限る。今回の募集に関しては2017年８月１日以降に受験したものを有効とする。2017年７月31日以前に受験したものや，その他の受験制度，例えば TOEFL-ITP（Institutional Testing Program），TOEIC-IP（Institutional Program），TOEIC（Speaking & Writing Test），TOEIC（Bridge Test），IELTS ジェネラル・トレーニング・モジュールなどのスコアは受け付けない。

6．選抜方法等

入学者の選抜は，一般選抜，留学生特別選抜及び社会人特別選抜に分けて行い，出願書類，学力検査により総合的に判定し，合格者を決定する。

各選抜の学力検査試験実施時期等については，P.1の「2020年度名古屋大学大学院環境学研究科博士前期課程入学試験実施予定表」を参照すること。

また，各試験の詳しい内容については，本募集要項のほか，別冊の受験案内もあわせて参照すること。

6.1　地球環境科学専攻

地球環境科学専攻には，地球惑星科学系と大気水圏科学系がある。

地球惑星科学系には，地球環境システム学，地質・地球生物学，地球化学，地球惑星物理学，地球惑星ダイナミクス，地球史学，生態学の各分野がある。

大気水圏科学系には，地球環境変動論，気候科学，物質循環科学，地球水循環科学の各分野がある。

試験科目「英語」については，TOEFL/TOEIC/IELTS スコアシートの原本の提出を求め，その点数を換算して採点する。提出可能なスコアシートについては，「5.2　試験当日に提出する書類」の項を参照すること。また，スコアシートの提出方法については，別冊の受験案内を参照すること。

① 一般選抜

学力検査は，普通入試（英語，専門科目及び口述試験）または自己推薦入試（英語及び口述試験）により行う。試験科目「英語」については，TOEFL/TOEIC/IELTS スコアシートの原本の提出を求め，その点数を換算して採点する。普通入試と自己推薦入試については，地球惑星科学系の受験志願者は一方または両方を受験することができる。大気水圏科学系の受験志願者は一方のみ受験することができる。自己推薦入試を受験する者は自己推薦書（志願理由書の裏面）を提出すること。

なお，希望研究テーマなどについて，事前に希望指導教員等に連絡をとることが望ましい。

試験種別	年　月　日	試験時間	試験方法（科　目）
普通入試	2019年８月26日（月）	13：00～13：15	英語スコアシートの提出　（注２）
		13：30～16：30	筆記試験（専門科目）　（注３）
	2019年８月27日（火）	９：00～12：00	口述試験　（注４）
自己推薦入試（注１）	2019年８月27日（火）	13：00～13：15	英語スコアシートの提出　（注２）
		15：00～18：00	口述試験　（注５）

（注１）　大気水圏科学系の自己推薦入試は，理系の学部・学科以外の出身者を対象とする。

（注２）　TOEFL/TOEIC/IELTS スコアシートの原本を提出すること。

（注３）　出題内容

○　地球惑星科学系を第一志望とする者：地球惑星科学の基礎となる分野の８問（地球環境学，地球科学Ⅰ，地球科学Ⅱ，地球科学Ⅲ，物理学，化学，生物学，数学）から，任意の２問を選択する。

○　大気水圏科学系を第一志望とする者：大気水圏科学の基礎となる分野の７問（地球環境学，地球物理学，地球化学，物理学，化学，生物学，数学）から，任意の２問を選択する。

○　試験時に関数電卓を貸し出すが，持ち込みは認めない。

○　専門科目の出題範囲は，別冊の受験案内の地球環境科学専攻の「３．専門科目の出題範囲」の項目を参照すること。

（注４）　卒業研究の内容や志望分野で研究したい内容などについて，口頭試問を行う。

（注５）　卒業研究の内容や志望分野で研究したい内容，自己アピールしたい点などについて，５分以内で発表すること。その内容に基づいて口頭試問を行う。

②　留学生特別選抜

学力検査は，以下の日程で行う。試験科目「英語」については，TOEFL/ TOEIC/IELTS スコアシートの原本の提出を求め，その点数と英語面接の点数によって採点する。

なお，出題等については語学能力，既習内容等を勘案して配慮を行うことがあるので，必ず事前に指導希望教員等に連絡を取ること。

年　月　日	試 験 時 間	試 験 方 法（科　目）
2019年８月26日（月）	13：00～13：15	英語スコアシートの提出　（注１）
	13：30～16：30	筆記試験（専門科目）　（注２）
2019年８月27日（火）	９：00～12：00	口述試験（注３）・英語面接（注４）

（注１）　TOEFL/TOEIC/IELTS スコアシートの原本を提出すること。

（注２）　既習内容に即した専門科目から出題する。日本語の読解力等を考慮し，出題及び解答は日本語又は英語とする。

（注３）「①一般選抜」の（注４）に同じ。

（注４）　志望動機や入学後の研究計画などについて，英語で口頭試問を行う。

③　社会人特別選抜

第Ⅰ期募集においては社会人特別選抜は実施しない。第Ⅱ期募集において社会人特別選抜を実施する予定である。

④　試験場所

各試験の会場は，別冊の受験案内を参照すること。

⑤　第２志望

一般選抜において，受験者は志望する指導教員または分野を第２志望まで記入することが可能である。第２志望がある場合は，提出書類の所定欄に記入すること。地球惑星科学系と大気水圏科学系と２つの系に分けて試験を実施するので，第１志望と第２志望とが異なる系である場合には，第１志望の系だけではなく，第２志望の系でも口述試験を課すことがある。その有無及び時間・場所は試験当日に指示する。

6.2　都市環境学専攻

都市環境学専攻には，持続発展学コース及び建築学コースがある。

都市環境学専攻の学生募集は，第Ⅰ期募集（本募集要項によるもの）を行うほか，第Ⅰ期募集における入学試験合格者数等の状況を勘案して，第Ⅱ期募集（2020年２月実施予定）を行うことがある。「名古屋大学国際環境人材育成プログラム」参加者の選抜は，都市環境学専攻持続発展学コースの入試にしたがって実施する。同プログラムについては，別冊の受験案内を参照すること。

第Ⅰ期募集(本募集要項によるもの)では，A日程(持続発展学コース，建築学コース)，B日程(建築学コース）及びC日程（持続発展学コース）の３つの日程で入試を行う。

試験科目「英語」については，TOEFL/TOEIC/IELTS スコアシートの原本の提出を求め，その点数を換算して採点する。提出可能なスコアシートについては,「５.２　試験当日に提出する書類」の項を参照すること。また，スコアシートの提出方法やスコアの換算方法については，別冊の受験案内を参照すること。

日 程	コース	年　月　日
A 日 程	持続発展学コース	2019年８月１日（木）
	建築学コース	2019年８月２日（金）
B 日 程	建築学コース	2019年８月20日（火）～21日（水）
C 日 程	持続発展学コース	2019年８月27日（火）～29日（木）

（２．１）持続発展学コース

①　一般選抜

学力検査は，以下の日程で行う。A日程では，土木工学系以外の出身者を想定した試験を行う。C日程では，土木工学系の出身者を想定した試験を行う。A日程とC日程の両方を受験することはできない。

試験科目「英語」については，提出された TOEFL，TOEIC または IELTS のスコアを換算して採点する。

日 程	年　月　日	試 験 時 間	試 験 方 法（科　目）
A 日 程	2019年８月１日（木）	９：30～11：30	筆記試験（専門科目）　（注１）
		13：00～14：00	筆記試験（小論文）　（注２）
		16：30～	面接　（注３）
C 日 程	2019年８月27日（火）	13：30～16：30	筆記試験（基礎科目）　（注４）
	2019年８月28日（水）	９：00～13：00	筆記試験（専門科目）　（注５）
	2019年８月29日（木）	９：00～12：00	面接　（注６）

（注１）　⑴環境工学・環境政策，⑵環境化学，⑶システム学の合計３分野からそれぞれ１～３問が出題されるので，任意に３問を選択解答する。出題範囲は別冊の受験案内を参照すること。また，本試験時間中に TOEFL/TOEIC/IELTS スコアシートの原本を回収する。

（注２）　小論文１問が出題される。出題範囲は別冊の受験案内を参照すること。

（注３）　主として，志望の動機，入学後の学修･研究計画及びそれに関連する事項について試問する。

（注４）　小論文１問と応用数学の複数設問中から任意に３問を選択解答する。出題範囲は別冊の受験案内を参照すること。

（注５）⑴構造・材料工学，⑵地盤工学，⑶水工学，⑷計画学，⑸環境工学の合計５分野からそれぞれ２～３問が出題されるので，５問を選択する。ただし，１つの分野から選択可能な問題は２問までとする。出題範囲は別冊の受験案内を参照すること。また，本試験時間中にTOEFL/TOEIC/IELTSスコアシートの原本を回収する。

（注６）主として，志望の動機，入学後の学修･研究計画及びそれに関連する事項について試問する。

② 留学生特別選抜

留学生特別選抜学力検査は，以下のＡ日程のみで行う。

試験科目「英語」については，提出されたTOEFL，TOEICまたはIELTSのスコアを換算して採点する。

出題等については，語学能力，既習内容等を勘案して配慮を行うことがあるので，必ず事前に希望指導教員に連絡を取ること。

日程	年　月　日	試験時間	試験方法（科　目）
Ａ日程	2019年８月１日（木）	９：30～11：30	筆記試験（専門科目）　（注１）
		13：00～14：00	筆記試験（小論文）　（注２）
		16：30～	面接　（注３）

（注１～３）「①一般選抜」の（注１～３）に同じ。

③ 社会人特別選抜

社会人特別選抜の学力検査は，以下のＡ日程のみで行う。

試験科目「英語」については，提出されたTOEFL，TOEICまたはIELTSのスコアを換算して採点する。

日程	年　月　日	試験時間	試験方法（科　目）
Ａ日程	2019年８月１日（木）	９：30～11：30	口述試験　（注１）
		16：30～	面接　（注２）

（注１）主として，専門科目に関する知識を問う。また，本試験時間中にTOEFL/TOEIC/IELTSスコアシートの原本を回収する。

（注２）「①一般選抜」の（注３）に同じ。

④ 試験場所

各試験の会場は，別冊の受験案内を参照すること。

⑤ 第２志望

Ｃ日程受験者は建築学コースを第２志望とすることが可能である。第２志望の有無を入学志願票の所定欄に記入すること。記入のない場合は，志望しないものとみなす。第２志望者には，そのコースの面接を課す場合がある。その有無及び時間と場所については，筆記試験の時に指示する。

（２．２）建築学コース

一般選抜（自己推薦入試）はＡ日程で，それ以外はＢ日程で実施する。

① 一般選抜

学力検査は，以下の日程で行う。

試験科目「英語」については，提出されたTOEFL，TOEICまたはIELTSのスコアを換算して採点する。

Ａ日程の自己推薦入試の志願者には，志願票とともに別途，これまでの学修等活動の内容と入学後の学修や研究等に関して記した自己推薦書の提出を求める。志願票と自己推薦書をもとに書類審査を行い，下記の日程で実施される口述試験の受験可否を連絡する。なお，Ａ日程とＢ日程の両方に出願することはできない。

日程等	年　月　日	試験時間	試験方法（科　目）
Ａ日程 自己推薦入試 （注１）	2019年８月２日（金）	13：30～17：30	口述試験　（注２）
Ｂ日程 普通入試	2019年８月20日（火）	13：30～18：40	筆記試験（専門科目Ⅰ「計画系・設計製図」）（注３）（注４）
		13：30～17：30	筆記試験（専門科目Ⅰ「環境系」「構造系」）（注３）（注４）
	2019年８月21日（水）	９：00～12：00	筆記試験（専門科目Ⅱ）（注５）
		13：30～	面接　（注６）

（注１） 自己推薦書は所定の様式に従って10ページ以内にまとめ，志願票とともに提出すること。自己推薦書の作成においては，必要に応じて図表や写真等を掲載してもよい。なお，建築学コースの自己推薦入試では，明確な将来のビジョンを持ち，これまでの経験と自らの能力により建築学の新しい分野を切り開くことができる人材を求めている。これらの点と，入学後に実施する学修や研究等の関係が明確になるように自己推薦書を作成すること。

（注２） 自己推薦入試の口述試験では，受験者が志願票とともに提出した自己推薦書をもとに口頭発表し，その内容に関して質疑応答を行う。また，口述試験の前にTOEFL/TOEIC/IELTSスコアシートの原本の提出を求める。

（注３） 本試験時間中にTOEFL/TOEIC/IELTSスコアシートの原本を回収する。

（注４） 普通入試・筆記試験（専門科目Ⅰ）では，⑴計画系・設計製図，⑵環境系（設備・環境）及び⑶構造系（構造・材料）の３分野から１分野を選択して解答する。選択する分野は，別冊の受験案内に従って事前に申請すること。

（注５） 普通入試・筆記試験（専門科目Ⅱ）では，建築，都市に関わる，意匠・歴史・計画・設備・環境・構造・材料の全分野からの問題に解答する。

（注６） 面接では，主として，志望の動機，入学後の学修・研究計画及びそれに関連する事項について試問する。

② 留学生特別選抜

学力検査は，以下のＢ日程で行う。

試験科目「英語」については，提出されたTOEFL，TOEICまたはIELTSのスコアを換算し

て採点する。

日 程	年　月　日	試 験 時 間	試 験 方 法（科　目）
B 日 程	2019年８月20日（火）	13：30～18：40	筆記試験（専門科目Ⅰ　（注１） 「計画系・設計製図」）　（注２）
		13：30～17：30	筆記試験（専門科目Ⅰ　（注１） 「環境系」「構造系」）　（注２）
	2019年８月21日（水）	13：30～	面接　（注３）

（注１）　筆記試験（専門科目Ⅰ）では，⑴計画系･設計製図，⑵環境系（設備･環境）及び⑶構造系（構造・材料）の３分野から１分野を選択して解答する。選択する分野は，別冊の受験案内に従って事前に申請すること。

（注２）　本試験時間中に TOEFL/TOEIC/IELTS スコアシートの原本を回収する。

（注３）　面接では，主として，志望の動機，入学後の学修・研究計画及びそれに関連する事項について日本語で試問する。

③　社会人特別選抜

学力検査は，以下のＢ日程で行う。

試験科目「英語」については，提出された TOEFL，TOEIC または IELTS のスコアを換算して採点する。

日 程	年　月　日	試 験 時 間	試 験 方 法（科　目）
B 日 程	2019年８月20日（火）	13：30～18：40	筆記試験（専門科目Ⅰ　（注１） 「計画系・設計製図」）　（注２）
		13：30～17：30	筆記試験（専門科目Ⅰ　（注１） 「環境系」「構造系」）　（注２）
	2019年８月21日（水）	13：30～	面接　（注３）

（注１）　筆記試験（専門科目Ⅰ）では，⑴計画系･設計製図，⑵環境系（設備･環境）及び⑶構造系（構造・材料）の３分野から１分野を選択して解答する。選択する分野は，別冊の受験案内に従って事前に申請すること。

（注２）　本試験時間中に TOEFL/TOEIC/IELTS スコアシートの原本を回収する。

（注３）　面接では，主として，志望の動機，入学後の学修・研究計画及びそれに関連する事項について試問する。

④　試験場所

各試験の会場は，受験票発送時に通知する。

⑤　第２志望

持続発展学コースを第２志望とすることが可能である。第２志望の有無を入学志願票の所定欄に記入すること。記入のない場合は，志望しないものとみなす。第２志望者には，そのコースの面接を課す場合がある。その有無及び時間と場所については，筆記試験の時に指示する。

6.3　社会環境学専攻

①　一般選抜

学力検査は，以下の日程で行う。

なお，志願者は，志願分野及び指導教員を決定するにあたり，出願前に指導希望教員もしくは所属希望講座（分野）の教員に連絡をとることが望ましい。

	年　月　日	試 験 時 間	試 験 方 法（科　目）
普通入試	2019年８月19日（月）	９：30～11：30	筆記試験（専門科目Ⅰ）　（注１）
		13：00～14：00	筆記試験（専門科目Ⅱ）　（注２）
	2019年８月20日（火）	９：30～	口述試験
自己推薦入試(注３)	2019年８月20日（火）	９：30～	口述試験　（注４，５）

（注１）　筆記試験（専門科目Ⅰ）は，入学志望分野からの出題に解答すること。

筆記試験（専門科目Ⅰ）では，辞書・電卓等の持ち込みを認めない。

筆記試験（専門科目Ⅰ）の分野別の出題範囲は以下のとおりである。

環境政策論分野	環境政策に関する１問および，他分野（経済環境論・環境法政論・社会学・地理学）から任意で選択した１問の，合計２問に解答する。
経済環境論分野	以下から２問を選択し解答する。 環境経済学，経済理論，統計学
環境法政論分野	以下から２問を選択し解答する。 環境法，公法（行政法を中心に出題する），国際政治，環境政治，環境ガバナンス
社会学分野	社会学理論，社会調査法に関する専門知識と論述能力を問う。 合計２問を出題する。
地理学分野	人文地理学，自然地理学，地理調査法に関する専門知識と論述能力を問う。 合計２問を出題する。

（注２）　筆記試験（専門科目Ⅱ）は，入学志望分野からの出題に解答すること。

筆記試験（専門科目Ⅱ）では，辞書・電卓等の持ち込みを認めない。

筆記試験（専門科目Ⅱ）の分野別の出題範囲は以下のとおりである。

環境政策論分野	他分野（経済環境論・環境法政論・社会学・地理学）から任意で選択した問題に解答する。
経済環境論分野	専門に基づいた英文問題を出題する。
環境法政論分野	専門に基づいた英文問題を出題する。
社会学分野	専門に基づいた英文問題を出題する。
地理学分野	外国語の設問を含む地理学全般。

（注３）　自己推薦入試を希望するものは，2019年６月28日（金）までに指導希望教員から事前に了承を得なければならない。（自己推薦入試は，特に高い能力を有すると指導希望教員が判断した者のみ受験が認められる。それ以外の場合は普通入試を受験すること。なお，普通入試と自己推薦入試の併願は認めない。）また，入学志願票の志望専攻・受験希望選択欄の右にある備考欄に，事前了承を得た教員名を明記すること。

（注４）　自己推薦入試においても来学受験を原則とするが，受験のための来学が極めて困難な場合，Skype 等のビデオ通話ソフトを用いたオンライン受験を認めることがある。オンライン受験を希望する者は必ず，希望する指導教員の内諾を2019年６月28日（金）までに取り，入学志願票の志望専攻・受験希望選択欄の右にある備考欄にその旨を明記すること。（希望が必ず認められるわけではない。）オンライン受験の希望者は，上記日程の指定された時間（日本時間）に，音声，画像とも良好な状況で通信可能な環境を自らの責任で確保しなければならない。なお，通信環境の問題で口述試験の実施に支障が生じた場合，欠席扱いとすることがある。

（注５）　自己推薦入試のオンライン受験希望者には，受験票発送時にオンライン受験の可否，オンライン試験を行う場合の試験会場及び指定時刻を通知する。

②　留学生特別選抜

学力検査は，以下の日程で行う。

なお，出題等については，語学能力，既習内容等を勘案して配慮を行うことがあるので，必ず事前に指導希望教員に連絡を取ること。

年　月　日	試 験 時 間	試 験 方 法（科　目）
2019年８月19日（月）	９：30～11：30	筆記試験（専門科目Ⅰ）　（注１）
	13：00～14：00	筆記試験（専門科目Ⅱ）　（注２）
2019年８月20日（火）	９：30～	口述試験

（注１，２）「①一般選抜」の（注１，２）に同じ。

③　社会人特別選抜

学力検査は，以下の日程で行う。

なお，志願者は，志願分野及び指導教員を決定するにあたり，出願前に指導希望教員もしくは所属希望講座（分野）の教員に連絡をとることが望ましい。

年　月　日	試 験 時 間	試 験 方 法（科　目）
2019年８月19日（月）	９：30～11：30	筆記試験（専門科目Ⅰ）　（注１）
2019年８月20日（火）	９：30～	口述試験

（注１）「①一般選抜」の（注１）に同じ。

④　試験場所

各試験の会場は，受験票発送時に通知する。

6.4　採点評価・合否判定基準

専攻名	採点評価基準	合否判定基準
地球環境科学専攻	①英語 【一般選抜】 TOEFL，TOEIC または IELTS のスコアから，英語に関する基礎的能力を評価する。 【留学生特別選抜】 TOEFL，TOEIC または IELTS のスコアから，英語に関する基礎的能力を評価するとともに，英語面接において，英語によるコミュニケーション能力を評価する。 ②専門科目（筆記試験） 【一般選抜（普通入試）・留学生特別選抜】 大学院での専門的な学修・研究に必要な基礎学力及び理論的な思考力などを物理学，数学，化学，生物学，地球科学の基礎的な問題を通じて評価する。 ③口述試験 【一般選抜（普通入試）・留学生特別選抜】 問われた事項を的確に理解し，適切に応える能力を評価する。 【一般選抜（自己推薦入試）】 大学院で学ぶ基礎的な能力を有するか否かについて，発表内容と試問結果から総合的に評価する。	学力検査の成績が一定の基準以上である者を合格とする。
都市環境学専攻	①英語 TOEFL，TOEIC または IELTS のスコアから，英語に関する基礎的能力を評価する。 ②専門科目（筆記試験・口述試験） 持続発展学コースにおける専門科目，建築学コースにおける専門科目ⅠおよびⅡでは，大学院での学修・研究に必要とされる専門分野における基礎学力を評価する。持続発展学コースでは，社会人特別選抜は筆記試験を課さない。 建築学コースの筆記試験については，日本語で解答することを求める。 ③基礎科目（筆記試験） 基礎学力および論述能力を評価する。持続発展学コースにおいて実施される。 ④小論文（筆記試験） 論述能力を評価する。持続発展学コースにおいて実施される。 ⑤面接（配点は行わないが合否判定の参考とする） 卒業論文などの過去の実績，入学後の研究計画の発展性などを評価する。 建築学コースの留学生特別選抜では，併せて日本語能力の評価も行う。	学力検査の成績が一定の基準以上である者を合格とする。
社会環境学専攻	①筆記試験（専門科目Ⅰ） 大学院での学修・研究に必要とされる，各専門分野における基礎学力を評価する。 ②筆記試験（専門科目Ⅱ） 各専門分野における英文読解力，もしくは専門的な基礎学力や論述能力を評価する。 ③口述試験 【普通入試】 卒業論文等の過去の研究実績，入学後の研究計画の独創性・発展性などを評価する。 ④口述試験 【自己推薦】 卒業論文等の過去の研究実績，入学後の研究計画の独創性・発展性などを評価する。また，英語能力も判断材料とする。	学力検査の成績が一定の基準以上である者を合格とする。

6.5　配点表

専攻等名	一　般　選　抜		留学生特別選抜		社会人特別選抜	
	科目名	配　点	科目名	配　点	科目名	配　点
地球環境科学専攻（普通入試）	英語	100	英語	100		
	専門科目	100	専門科目	100		
	口述試験	100	口述試験	100		
	満　点	300	満　点	300		
地球環境科学専攻（自己推薦入試）	英語	100				
	口述試験	200				
	満　点	300				
都市環境学専攻　持続発展学コース（Ａ日程）	英語	300	英語	300	英語	300
	専門科目	500	専門科目	500		
	小論文	200	小論文	200		
					口述試験	700
	面接	配点なし	面接	配点なし	面接	配点なし
	満　点	1,000	満　点	1,000	満　点	1,000
都市環境学専攻　持続発展学コース（Ｃ日程）	英語	200				
	専門科目	500				
	基礎科目	300				
	面接	配点なし				
	満　点	1,000				
都市環境学専攻　建築学コース（Ａ日程：自己推薦入試）	英語	200				
	口述試験	800				
	満　点	1,000				
都市環境学専攻　建築学コース（Ｂ日程）	英語	200	英語	200	英語	200
	専門科目Ⅰ	450	専門科目Ⅰ	450	専門科目Ⅰ	450
	専門科目Ⅱ	350				
	面接	配点なし	面接	配点なし	面接	配点なし
	満　点	1,000	満　点	650	満　点	650
社会環境学専攻（普通入試）	専門科目Ⅰ	200	専門科目Ⅰ	200	専門科目Ⅰ	200
	専門科目Ⅱ	100	専門科目Ⅱ	100		
	口述試験	100	口述試験	100	口述試験	100
	満　点	400	満　点	400	満　点	300
社会環境学専攻（自己推薦入試）	口述試験	100				
	満　点	100				

7．合 格 発 表

2019年９月５日（木）午後３時頃，環境総合館１階の掲示板に掲示する。

なお，後日郵送により判定結果を本人宛通知する。

8．入 学 手 続 き

入学手続きは，2020年３月26日（木）に行う予定である。

詳細は合格者に対し文書により通知する。（３月上旬に発送予定）

なお，合格者のうち，有職者については入学手続き時に所属長の承諾書または，承諾書に代わる書類の提出を求める。

9．入学料及び授業料

⑴　入　学　料　　282,000円〔予定〕

⑵　授　業　料　　前期分　267,900円（年額　535,800円）〔予定〕

注１）　授業料は，前期及び後期の２期に分けて，入学年度前期にあっては５月（ただし，次年度以降前期は４月），後期にあっては10月に納入する。

なお，入学時又は在学中に学生納付金の改定が行われた場合は，改定時から新たな学生納付金額が適用される。

注２）　国費外国人留学生は，入学料及び授業料の納付は不要。

10．そ　の　他

⑴　出願資格，出願書類及び選抜方法等本研究科入学試験に関して不明な点は，あらかじめ大学院係へ問い合わせること。

⑵　外国籍で海外で企業等に在職のまま，本研究科に入学を希望する者は，受験資格の有無を事前に大学院係に問い合わせること。（※本研究科に在留資格「留学」で在学することなどを条件とする。）

⑶　名古屋大学においては，構内への車両の入構規制を実施しているので，受験の際は，公共交通機関を利用すること。

⑷　名古屋市内に暴風特別警報，暴風警報もしくは気象等に関する特別警報が発令され，午前７時までに解除されない場合，あるいは災害発生時には，その日の試験の中止あるいは日程の変更がありうるので，本研究科ホームページ又は大学院係で確認すること。

⑸　出願にあたって提供された氏名，住所その他個人情報は，入学者選抜，合格発表，入学手続き及び入学後の学務業務における学籍・成績管理を行うために利用する。

なお，取得した個人情報は適切に管理し，利用目的以外に使用しない。

⑹　入学試験成績の開示について

受験者本人からの申請に基づき，2020年度入学試験に係る試験成績について，受験者本人に開示する。

開示内容：入学試験の合計得点並びに募集単位別の合格者の最高点，最低点，及び平均点

※ただし，合格者の最高点，最低点及び平均点については，募集単位別の合格者が10人未満の場合は開示しない。

申請期間：2019年11月１日（金）～2019年11月25日（月）　各日10時から16時（土日祝日を除く）

申請方法：本研究科所定の「開示願」により，当該試験の受験票及び返信用封筒（切手貼付）を添付して申請すること。「開示願」については，下記⑻連絡先へ照会して入手すること。

⑺　障がいのある者等の出願

障がい等があって試験場での特別な配慮を必要とする者にあっては，2019年６月28日（金）までに，以下の３点を添えて，下記⑻の連絡先へ申し出てください。

①　受験上の配慮申請書（志望専攻等，障がいの状況，受験上配慮を希望する事項とその理由等を記載したもの，様式随意，Ａ４サイズ）

②　障がい等の状況が記載された医師の診断書，障害者手帳等（写しでもよい）。

③　障がい等の状況を知っている第３者の添え書（専門家や出身学校関係者などの所見や意見書）。

④　適宜上記①～③以外の書類を添付しても構いません。

なお，入学後の修学に関して相談の希望がある者は，2019年６月28日（金）までにお問い合わせください。

⑻　連絡先：名古屋大学大学院環境学研究科大学院係

〒464－8601　名古屋市千種区不老町環境総合館２階

TEL　052－789－4590／4272

E-mail　env@adm.nagoya-u.ac.jp

２０２０年度
名古屋大学大学院環境学研究科

博士前期課程　入学志願票

Master's Program Application Form for the Academic Year 2020
Graduate School of Environmental Studies, Nagoya University

※受験番号 (Examinee's Number)	

<table>
<tr><td rowspan="5">志望専攻・受験希望選択欄</td><td>☐ Ⅰ．地球環境科学専攻 (Department of Earth and Environmental Sciences)</td><td>受験希望入試 (Examination type)</td><td colspan="3">☐ ①普通入試のみ受験 (General Examination)
☐ ②自己推薦入試のみ受験 (Self-recommendation Examination)
☐ ③普通入試，自己推薦入試両方受験（※） (Both General and Self-recommendation Examinations)
※③は，地球惑星科学系志願者のみ選択可能である。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">☐ Ⅱ．都市環境学専攻 (Department of Environmental Engineering and Architecture)</td><td rowspan="3">受験希望入試 (Examination type)</td><td>☐ A 日程 (Type A)</td><td colspan="2">☐ ①持続発展学コース（Sustainable Development Course）
☐ ②建築学コース　一般選抜（自己推薦入試） (Self-recommendation Examination in Architecture Course)</td></tr>
<tr><td>☐ B 日程 (Type B)</td><td>☐ ③建築学コース (Architecture Course)</td><td>持続発展学コースを第２志望と (I am applying to Sustainable Development Course as the second choice.)
☐する / ☐しない (Yes)　(No)</td></tr>
<tr><td>☐ C 日程 (Type C)</td><td>☐ ④持続発展学コース (Sustainable Development Course)</td><td>建築学コースを第２志望と (I am applying to Architecture Course as the second choice.)
☐する / ☐しない (Yes)　(No)</td></tr>
<tr><td colspan="5">• 持続発展学コース受験希望者のみ以下に記入すること。 (For those taking the examination for Sustainable Development Course)
名古屋大学国際環境人材育成プログラムへの参加を希望 (I would like to apply for the Nagoya University Global Environmental Leaders Program (NUGELP).)
☐ する（Yes）／ ☐ しない（No）</td></tr>
<tr><td>☐ Ⅲ．社会環境学専攻 (Department of Social and Human Environment)</td><td colspan="4">• 自己推薦入試を希望する場合，事前の了承が必要であるため，以下を記入すること。 (Applicants of "self-recommendation admission" must fill out the information below.)
了承を得た教員名 (Name of your prospective supervisor who approved you of self-recommendation admission)
[　　]
英語を主要言語として教育を行う高等教育機関を卒業・修了している／する見込みである。 (Graduation/Expected to graduate from an institution of higher education whose language of instruction is English)
☐ Yes ／ ☐ No
• 自己推薦入試においてオンライン受験を希望する場合，事前の内諾が必要であるため，以下を記入すること。(Preference to take online video interview for "self-recommendation admission")
指導教員からオンライン受験の内諾を得ている（Approved by your prospective supervisor）
☐ Yes ／ ☐ No</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="3">氏名</td><td>フリガナ (Kana)</td><td rowspan="3">本籍地 (国籍) (Nationality)</td><td rowspan="3">国／都・道府・県</td></tr>
<tr><td>漢字 (Name in Chinese Characters) (英字欄も記入)</td></tr>
<tr><td>英字 (Name in English)</td><td>(Family Name,　First Name　Middle Name)</td></tr>
<tr><td>生年月日 (Date of Birth)</td><td>年 (Year)　月 (Month)　日 (Day)　生</td><td>性別 (Gender)</td><td>男 (Male) ・ 女 (Female)</td></tr>
</table>

裏面につづく（continued overleaf）

SAMPLE

出願資格 (Qualification for Application)	国立・公立・私立・外国 大学 (University)　学部 (Faculty/School)　学科 (Department) 年 (Year)　月 (Month)　日 (Day) 卒業（見込）(Date of (Expected) Graduation)	受験希望選抜区分 (Application Type)	□ ①一般選抜 (General Application) □ ②留学生特別選抜 (Special Application for International Students) □ ③社会人特別選抜 (Special Application for Career Professionals)
勤務先 (在職者のみ) (Name of Company or Institution; For Incumbents Only)	TEL　－　－		
現住所 (Current Address)	□□□－□□□□ (Post Code) TEL (Landline)：　－　－ 携帯 (Mobile Phone)：　－　－ E-mail：		
連絡先 (Contact Address)	□□□－□□□□ (Post Code) TEL (Landline)：　－　－ 携帯 (Mobile Phone)：　－　－ E-mail：		

入学検定料領収印 (Proof of Receipt of Application Fee)

名古屋大学に在学中の者のみ記入すること。
(To be filled out by those currently attending Nagoya University.)

学生番号
(Student ID Number)

注意
1．受験番号欄は記入しないこと。
2．志願票，受験票，写真票の所定欄に漏れなく記入すること。
3．志望専攻・受験希望欄等の該当する□欄に✓を記入すること。
4．建築学コースの一般選抜（自己推薦入試）での受験を希望する者は，本入学志願票に所定の様式に沿って作成された自己推薦書を添付して提出すること。
5．勤務先欄は，有職者のみ記入し，所属部課等まで記入すること。
6．E-mail 欄は，電子メールによる連絡が可能な場合に，アドレスを記入すること。
7．地球環境科学専攻の「受験希望入試」欄には，一般選抜の希望者のみが記入すること。

NOTE
1. Leave Examinee's Number blank.
2. Make sure all the information on the Application Form, the Examinee's Registration Card and the Photograph Card is complete.
3. Tick appropriate boxes on the Application Form.
4. In the case of taking the Self-recommendation Examination in Architecture Course, the essay for self-recommendation described according to the prescribed form should be submitted with this Application Form.
5. Only those in full time employment should give details of their company including the name of their department.
6. Please provide a valid e-mail address where you can be reached.
7. A column of 'Examination type' for Department of Earth and Environmental Sciences should be filled in by applicants of 'General application' only.

SAMPLE

受験票と写真票は
切り離さないこと

名古屋大学大学院環境学研究科
(Graduate School of Environmental Studies)
博士前期課程 (Master's Program)

☐ 1. 一　般　選　抜(General Application)
☐ 2. 留学生特別選抜(Special Application for International Students)
☐ 3. 社会人特別選抜(Special Application for Career Professionals)

2020年度

受　験　票
(Examinee's Registration Card)

志　望　専　攻 (Department)	
指導教員名（第1志望）* (Prospective Supervisor) [First Choice]	
指導教員名（第2志望）* (Prospective Supervisor) [Second Choice]	
※受　験　番　号 (Examinee's Number)	（記入しない） (Do not write here)
フリガナ 氏　　名 (Name)	
生年月日 (Date of Birth)	年　　月　　日　生　　男・女 (Year) (Month) (Day)　(Male) (Female)

1. 本票は，常に携帯し，入学の手続きが完了するまで保存すること。
2. 本票は，試験の際に机上に置いて監督者に見えるようにすること。
3. 本票は，監督者の請求があれば何時でも見せること。
4. 遅刻した者は，指定された試験室の監督者に申し出ること。

1. Keep this card at hand until the enrollment procedures for entrance are completed.
2. Place this card on the desk during the examination.
3. Present this card whenever required.
4. Notify the proctor if you are late for the examination.

＊「志願理由書」下部の注意書きを参照し，同理由書の指導教員名（都市環境学専攻持続発展学コースを除き，未定の場合は分野名）と同じものを記入すること。
＊ Refer to the note at the bottom of 'Reason for Application'. Prospective Supervisors (Fields of Researches if not decided, except for the Sustainable Development Course, the Department of Environmental Engineering and Architecture) here should be the same as the ones on 'Reason for Application'.

名古屋大学大学院環境学研究科
(Graduate School of Environmental Studies)
博士前期課程 (Master's Program)

☐ 1. 一　般　選　抜(General Application)
☐ 2. 留学生特別選抜(Special Application for International Students)
☐ 3. 社会人特別選抜(Special Application for Career Professionals)

2020年度

写　真　票
(Photograph Card)

志　望　専　攻 (Department)	
指導教員名（第1志望）* (Prospective Supervisor) [First Choice]	
指導教員名（第2志望）* (Prospective Supervisor) [Second Choice]	
※受　験　番　号 (Examinee's Number)	（記入しない） (Do not write here)
フリガナ 氏　　名 (Name)	
生年月日 (Date of Birth)	年　　月　　日　生　　男・女 (Year) (Month) (Day)　(Male) (Female)

写真貼付欄
(Attach photograph here)
（4 cm × 3 cm）

1. 写真は正面向き半身脱帽3ヶ月以内に撮影したものであること。
2. 全面糊付けすること。

1. Photograph should be full-faced and taken within the last 3 months.
2. Apply glue to entire reverse side.

出席確認欄		

SAMPLE

履　歴　書（Curriculum Vitae/Resume）

志望専攻名 (Department)	氏名 (Name)	※受験番号 (Examinee's Number)

学歴（Educational Background）						
区分 (Level)	学校名 (Name of School)	正規の就学年数 (Required Years of Study)	入学及び卒業年月 (Year & Month of Entrance & Completion)	年(Year)	月(Month)	学位／資格 (Diploma or Degree awarded)
小学校 (Elementary School)		年 (Years)	From:			
			To:			
中学校 (Junior High School)		年 (Years)	From:			
			To:			
高校 (Senior High School)		年 (Years)	From:			
			To:			
大学 (Undergraduate School)		年 (Years)	From:			
			To:			
大学院 (Graduate School)		年 (Years)	From:			
			To:			
研究生等 (Research Student) (Department / School)		年 (Years)	From:			
			To:			
その他・日本語学校等 (Other, Japanese Language School)		年 (Years)	From:			
			To:			

職歴（Employment Record: in reverse chronological order）					
勤務先 (Name of Company)	勤務期間 (Period of Employment)	年(Year)	月(Month)	役職名 (Position)	職務内容 (Type of Work)
	From:				
	To:				
	From:				
	To:				
	From:				
	To:				

注意
1．学歴は高等学校卒業から記入すること。ただし，外国人出願者及び外国の大学を卒業した者は初等教育から全て記入すること。
2．学歴欄の大学，大学院，研究生等は，学部／研究科名まで記入すること。
3．学歴・職歴とも，名称等は省略せず正確に記入すること。
4．空白期間がないよう全て記入すること。

NOTE
1．Academic record should be given starting with high school graduation. However, international applicants and those graduated from a foreign university should give full details starting from their elementary education.
2．Name of department and school should be given in "Undergraduate", "Graduate", and "Research Student" in the column of "Educational Background".
3．Do not use abbreviated names for any of the listed educational establishments or work places.
4．There should be no blank periods.

SAMPLE

名古屋大学大学院環境学研究科(Graduate School of Environmental Studies)
前期課程(MASTER'S PROGRAM)

※ 受験番号 (Examinee's Number)	

志 願 理 由 書 (Reason for Application)

志望専攻名 (Department)	指導教員名（第１志望） (Prospective Supervisor) [First Choice]	指導教員名（第２志望） (Prospective Supervisor) [Second Choice]	氏名 (Name)

○入学する目的，入学後に特に学修したい分野とそれを選んだ理由などについて記入すること。
Summarize the purpose of your study, and reasons for selecting the prospective laboratory.

●指導教員名欄には，受験案内の「環境学研究科関係教員一覧」を参照し，志望する指導教員名を記入すること。また，都市環境学専攻持続発展学コースを除き，指導教員が未定の場合は，同欄に志望分野名を記入することができる。(社会環境学専攻の受験者が，上記教員一覧で＃印がついている教員を記す場合は，受験希望分野も記すこと。分野名のみを記入する場合は，第１志望のみ記入すること。)

●In the 'Prospective Supervisor' column, applicants should write the names of their prospective supervisors by referring to the list of Faculty Members of the School (available in the application information in Japanese only). Except for the Sustainable Development Course, the Department of Environmental Engineering and Architecture, if you have not decided whom to be your supervisors, you should write the name of the field of research you wish to study instead. Applicants for the Department of Social and Human Environment should write only the first choice (both the name of the prospective supervisor and the academic field).

SAMPLE

前期課程

自　己　推　薦　書

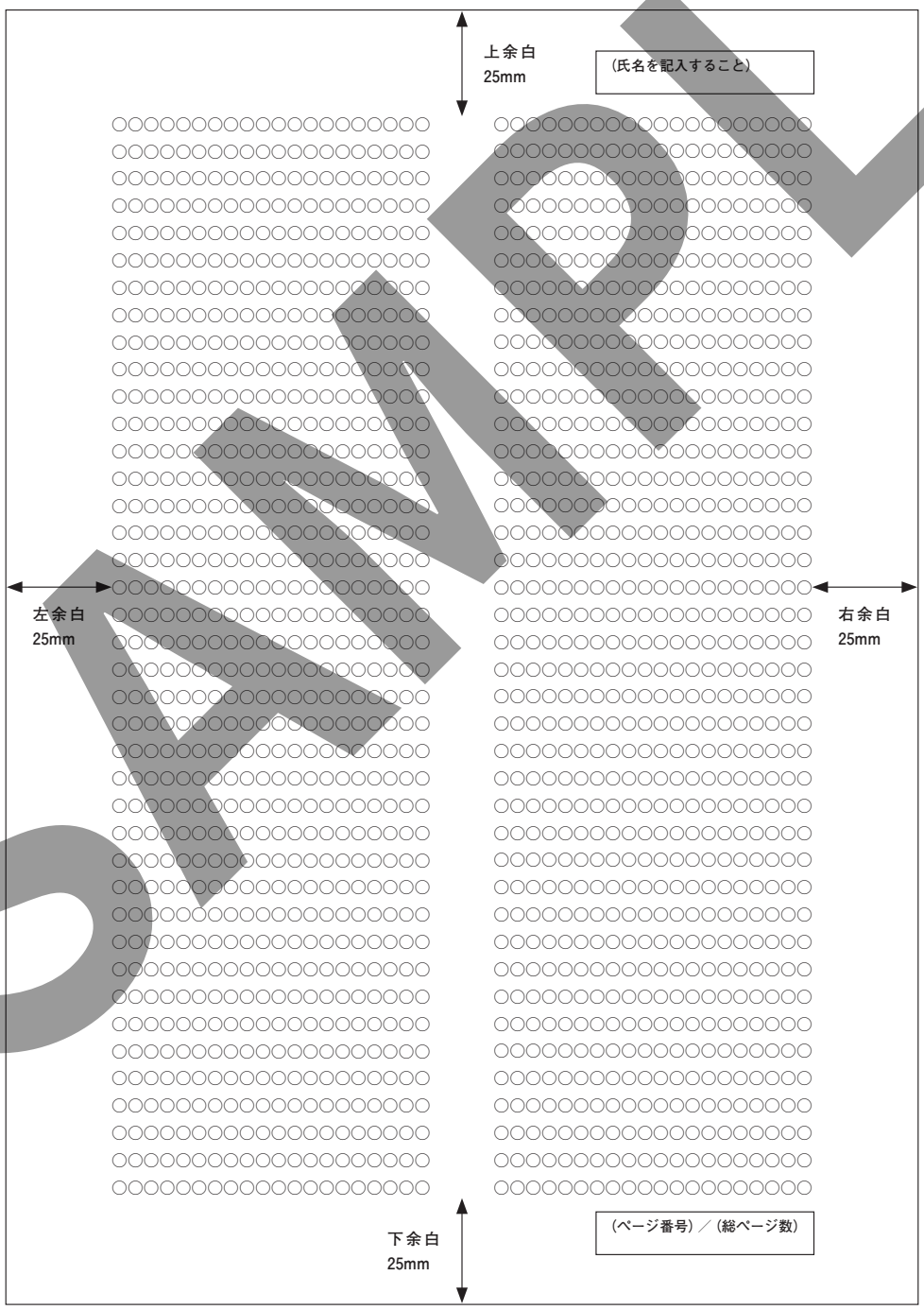
（地球環境科学専攻，社会環境学専攻で自己推薦入試を受験する者）

在学する（出身）大学・学部	氏　　名	※ 受験番号

SAMPLE

都市環境学専攻建築学コース　一般選抜（自己推薦入試）
自己推薦書　様式

・これまでの学習等活動の内容と入学後の学習や研究等に関して10ページ以内にまとめ，左上部をホッチキス止めして提出すること。
・自己推薦書作成に際しては，ワープロ等を使用して作成してよい。必要に応じて図表等を貼り付けてよい。色使いは白黒でもカラーでもよい。
・２段組みで１段は20字×40行とする。文字サイズは10ポイント程度とし，左右上下の余白は25mm を基本とする。
・各ページの右上に氏名欄を作成し，氏名を記入する。また各ページの右下にはページ番号と総ページ数を記入する欄を作成し，「ページ番号／総ページ数」の形式で記入する。記載方法は本様式に準じて作成すること。



SAMPLE

領　収　証　書（RECEIPT）

氏名（NAME） 殿	２０１９年度				第　　号				
	国立大学法人名古屋大学								
	入　学　検　定　料								
納　付　金　額	千	百	十	万	千	百	十	円	
			￥	3	0	0	0	0	
年　　月　　日　領収									

氏名は本人が記入すること。

（切り離さないこと）

領収証書（控）

氏名（NAME） 殿	２０１９年度				第　　号				
	国立大学法人名古屋大学								
	入　学　検　定　料								
納　入　金　額	千	百	十	万	千	百	十	円	
			￥	3	0	0	0	0	
年　　月　　日　領収									

氏名は本人が記入すること。

（切り離さないこと）

SAMPLE

名古屋大学東山地区配置図